

福島第一原子力発電所における不適合発生・処理状況について  
(2024年度第1四半期)

2024年 8月 23日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

○2024年4月1日～2024年6月30日の間にパフォーマンス向上会議で審議された「不適合」は33件ありました。そのうち、処置が完了した不適合件数は17件<sup>※</sup>です。  
なお、未完了の16件につきましては完了時期を定め、進捗を管理し適切に処理をまいります。  
※2024年6月30日現在

○2017年8月1日～2024年3月31日の間にパフォーマンス向上会議で審議された「不適合」は3456件ありました。そのうち、処置が完了した不適合件数は3211件<sup>※</sup>です。

○不適合の発生及び処置状況の詳細については、添付資料参照

・添付資料-1

「福島第一原子力発電所不適合発生・処置状況 2024年度第1四半期分  
(2024年4月1日～2024年6月30日)」

・添付資料-2

「福島第一原子力発電所不適合発生・処置状況 ホームページ掲載以降の過去分  
2017年度分(2017年8月1日～2018年3月31日)、  
2018年度分(2018年4月1日～2019年3月31日)、  
2019年度分(2019年4月1日～2020年3月31日)、  
2020年度分(2020年4月1日～2021年3月31日)、  
2021年度分(2021年4月1日～2022年3月31日)、  
2022年度分(2022年4月1日～2023年3月31日)、  
2023年度分(2023年4月1日～2024年3月31日)」

○パフォーマンス向上会議において審議された全件名については、「不適合の公表区分」に応じて、プレス発表または当所ホームページ上において全数公表しております。

・添付資料-3

「2024年度第1四半期不適合詳細(委員会確認日:2024年4月1日～2024年6月30日まで)」  
(不適合管理グレードIに関わる件名を抜粋)

<原子力発電所における不適合の是正管理>

原子力発電所では、設備の健全性を維持し、安全運転を継続するため、発電所設備の施設定期検査や安全確保設備等の巡視点検、定例試験、点検・修理等を行っております。

その中で、「不適合」\*が発見された場合には、「不適合管理及び是正処置・未然防止処置基本マニュアル」に基づき、必要な是正処置等を講ずることとしております。

\*不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。

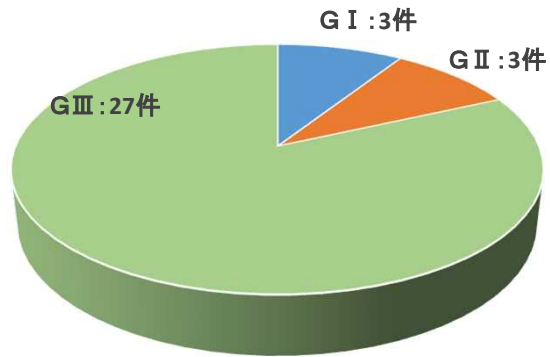
不適合管理グレード分け(パフォーマンス向上会議にて決定)

- GⅠ : 発電所施設運営に重大な影響を与えることがら
- GⅡ : 発電所施設運営に影響を与えることがら
- GⅢ : 軽微な不適合なことがら

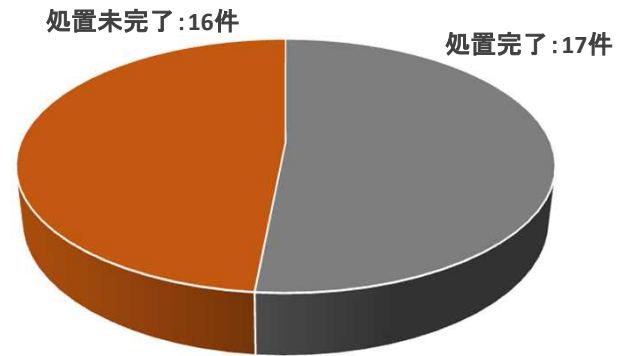
以上

福島第一原子力発電所不適合発生・処置状況 2024年度第1四半期分  
( 2024年4月1日 ~ 2024年6月30日 )

不適合件数(総数:33件)



処置件数(総数:33件)

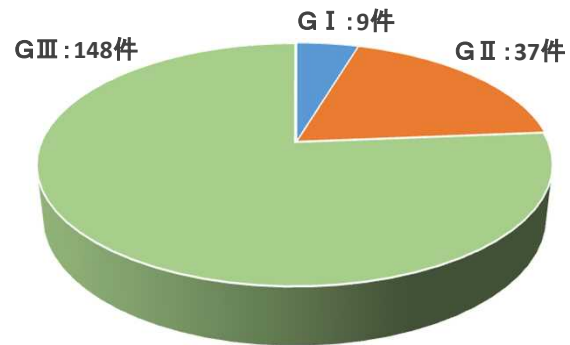


グレード	不適合件数
G I	3
G II	3
G III	27
総計	33

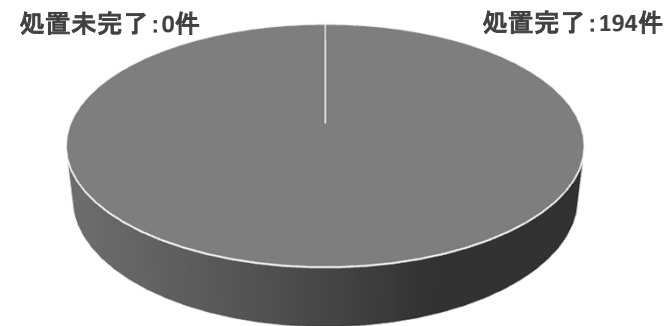
グレード	処置完了 件数	処置未完了 件数
G I	0	3
G II	1	2
G III	16	11
総計	17	16

福島第一原子力発電所不適合発生・処置状況 2017年度分  
(2017年8月1日～2018年3月31日)

不適合件数(総数:194件)



処置件数(総数:194件)

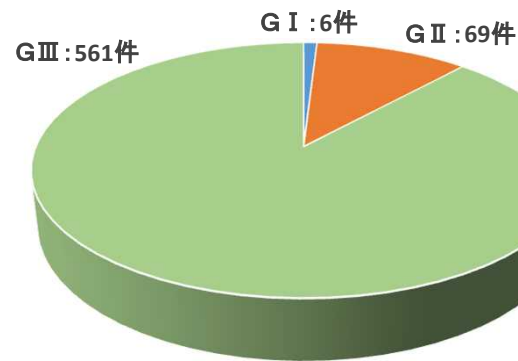


グレード	不適合件数
G I	9
G II	37
G III	148
総計	194

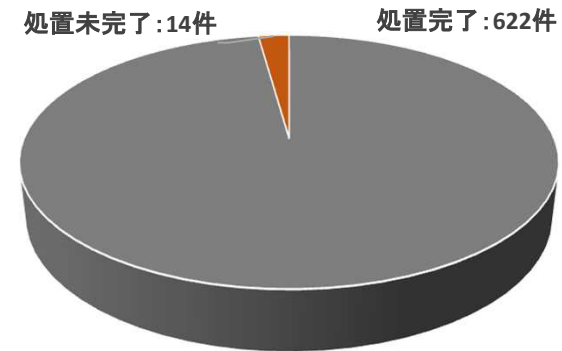
グレード	処置完了 件数	処置未完了 件数
G I	9	0
G II	37	0
G III	148	0
総計	194	0

福島第一原子力発電所不適合発生・処置状況 2018年度分  
(2018年4月1日～2019年3月31日)

不適合件数(総数:636件)



処置件数(総数:636件)

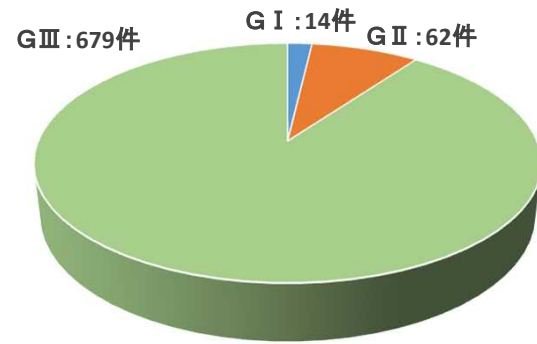


グレード	不適合件数
G I	6
G II	69
G III	561
総計	636

グレード	処置完了 件数	処置未完了 件数
G I	6	0
G II	68	1
G III	548	13
総計	622	14

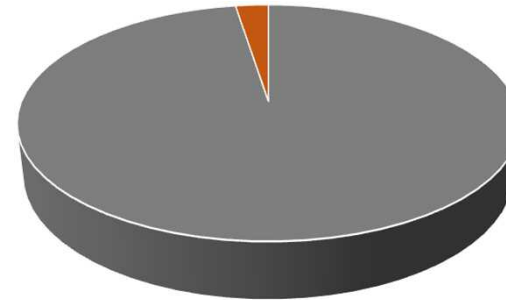
福島第一原子力発電所不適合発生・処置状況 2019年度分  
(2019年4月1日～2020年3月31日)

不適合件数(総数:755件)



処置件数(総数:755件)

処置未完了:19件 処置完了:735件

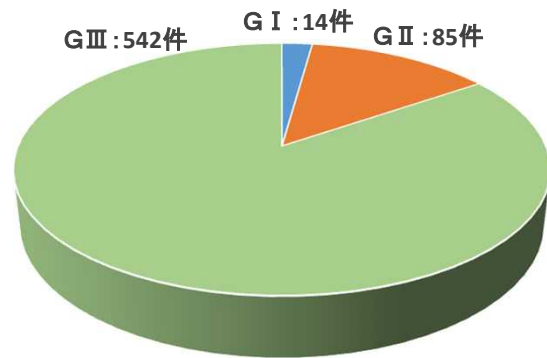


グレード	不適合件数
G I	14
G II	62
G III	679
総計	755

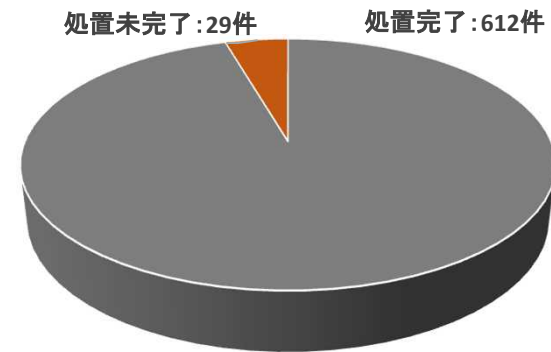
グレード	処置完了 件数	処置未完了 件数
G I	13	1
G II	59	3
G III	663	15
総計	735	19

福島第一原子力発電所不適合発生・処置状況 2020年度分  
(2020年4月1日～2021年3月31日)

不適合件数(総数:641件)



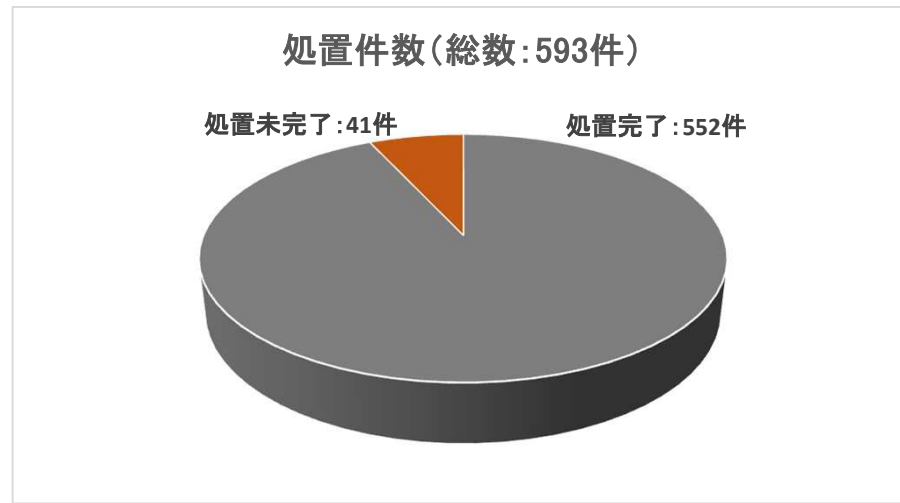
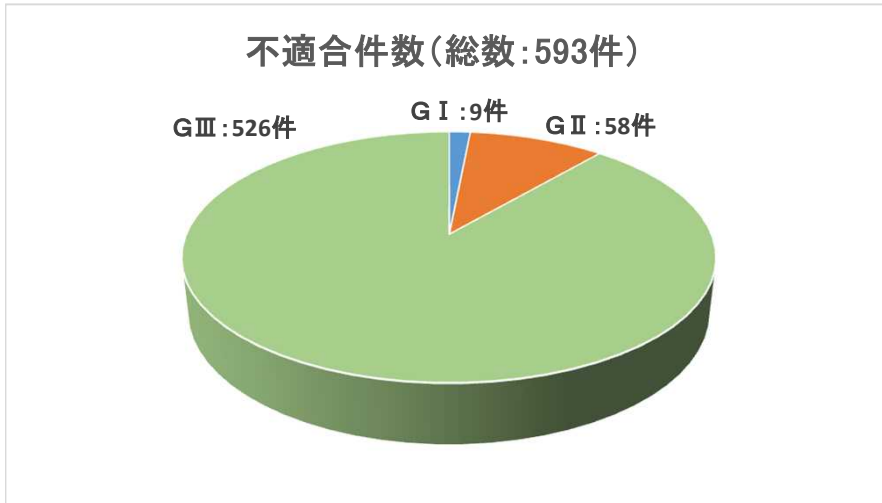
処置件数(総数:641件)



グレード	不適合件数
G I	14
G II	85
G III	542
総計	641

グレード	処置完了 件数	処置未完了 件数
G I	11	3
G II	78	7
G III	523	19
総計	612	29

福島第一原子力発電所不適合発生・処置状況 2021年度分  
(2021年4月1日～2022年3月31日)

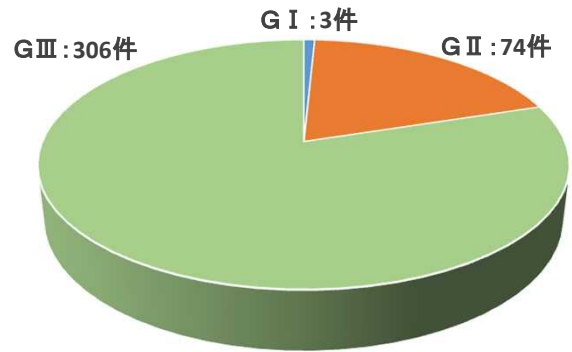


グレード	不適合件数
G I	9
G II	58
G III	526
総計	593

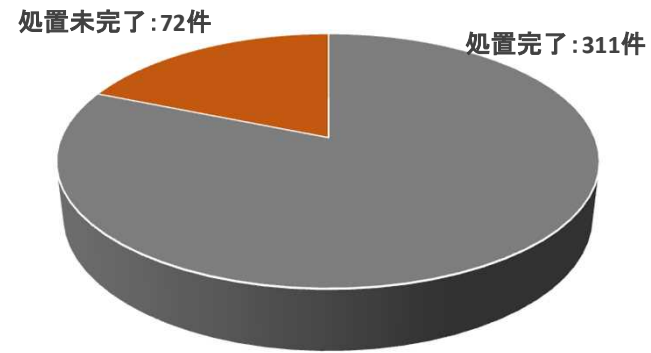
グレード	処置完了 件数	処置未完了 件数
G I	7	2
G II	54	4
G III	491	35
総計	552	41

福島第一原子力発電所不適合発生・処置状況 2022年度分  
(2022年4月1日～2023年3月31日)

不適合件数(総数:383件)



処置件数(総数:383件)



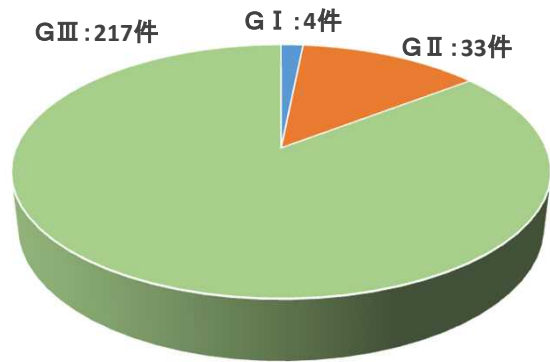
グレード	不適合件数
G I	3
G II	74
G III	306
総計	383

グレード	処置完了 件数	処置未完了 件数
G I	2	1
G II	55	19
G III	254	52
総計	311	72

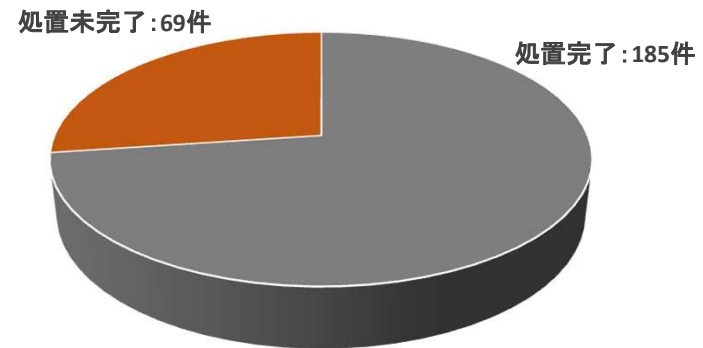


福島第一原子力発電所不適合発生・処置状況 2023年度分  
(2023年4月1日～2024年3月31日)

不適合件数(総数:254件)



処置件数(総数:254件)



グレード	不適合件数
G I	4
G II	33
G III	217
総計	254

グレード	処置完了 件数	処置未完了 件数
G I	0	4
G II	18	15
G III	167	50
総計	185	69

2024年度第1四半期不適合詳細(委員会確認日:2024年4月1日~2024年6月30日まで)

(不適合管理グレードIに関わる件名を抜粋)

G I グレード:3件

No	件名	委員会 確認日	グレード
1	<p>【所内電源A系の停止および負傷者発生について】</p> <p>当社運転員が、所内電源A系の停止を確認。 停止に伴い、重要免震棟の電圧が無くなったことから、実施計画第1編第29条で定める「免震重要棟の維持に必要な交流高圧電源母線が受電されていること」の運転上の制限を満足できない(以下「運転上の制限逸脱」と判断。その後、免震重要棟ガスタービン発電が自動起動し、電圧が復旧したことから、運転上の制限逸脱からの復帰を判断。 また、所内電源A系が停止した同時刻に、構内の大型機器点検建屋西側において、掘削作業(コンクリート舗装面(表層)の剥がし作業)に従事していた協力企業作業員の負傷を確認。 現場状況を確認したところ、当該作業によりケーブルが損傷し、所内電源A系が停止したことを確認。 なお、所内電源A系については、当該事故点を除き復旧済み。 負傷者については意識があり、放射性物質による汚染はなし。 救急医療室にて医師の診察を受け、緊急搬送の必要があると診断されたことから、救急車を要請し、医療機関へ搬送。 搬送先の医療機関で、右頬部・右前腕2度熱傷と診断され帰宅。 今後、再発防止対策を検討。</p>	4月25日	G I
2	<p>【所内電源A系の電源復旧作業中における運転上の制限逸脱および復帰について】</p> <p>当社運転員が、所内電源A系の電源復旧作業中に、免震重要棟ガスタービン発電から供給されていた免震重要棟の電源が喪失したことを確認。 このため、実施計画第1編第29条で定める「免震重要棟の維持に必要な交流高圧電源母線が受電されていること」の運転上の制限を満足できない(以下「運転上の制限逸脱」と判断。 その後、所内共通高圧配電盤(5A)より免震重要棟の電源を受電し電源が復旧したことから、運転上の制限逸脱からの復帰を判断。 所内共通高圧配電盤(5A)から免震重要棟高圧配電盤へのしゃ断器を投入した際、免震重要棟へ電源供給中であったガスタービン発電機が停止したことを確認。 原因については調査中。 今後、再発防止対策を検討。</p>	4月25日	G I
3	<p>【6号機高圧電源盤(6C)の電源停止、及び火災報知器の作動について】</p> <p>当社運転員が、5・6号機中央制御室において、6号機高圧電源盤(6C)が電源停止し、それに伴いディーゼル発電機(6A)が自動起動したことを確認。 また、同時刻に6号機使用済燃料プール冷却浄化系ポンプ(B)が自動停止したことを確認。 その後、6号機タービン建屋地下1階において火災報知器が作動したことを確認。 現場確認の結果、火気がないこと、及び煙が発生していることを確認。 その後、消防と共に煙が停止していることを確認。 翌日、消防により「火災」と判断。 また、6号機使用済燃料プール冷却浄化系ポンプ(B)については、当日中に運転を再開。 今後、原因を調査し、再発防止対策を検討。</p>	6月20日	G I